

20230822 神奈川交運労協第4回幹事会

22日、相模鉄道労働組合会議室にて『第4回幹事会』が開催され、各産別より17名の役員が出席。

菊本議長は、交運の仲間である横浜交通労働組合の高橋委員長がご逝去されたことにお触れ、「大変急なことで驚いてる。故人のご冥福をお祈りします」と冒頭あいさつ。また、「台風7号の影響と対策にて15日より計画運行がされましたが、翌日まで長引いてしまった。人流・物流が止まってしまうと経済が廻らなくなることがはっきりわかった。業界外の方にはわからないことも多いと思いますが、我々は運動を通じ訴えていかなければいけない。」と述べました。



報告事項は13項目、6月13日から本日までの行動について、小笠原事務局長より報告されました。



各部会からの報告では、バス部会の『視察学習会』の報告が書面にてされました。県私鉄の小山幹事は、『森屋たかし』参議員議員にも同席いただき大型EV路線バスの運行状況や充電時間と走行距離などの問題について学んだと報告されました。

承認事項は2項目、神奈川交運労協として港湾技能研修センターへの視察について、物流部会の高橋事務局より説明。港湾技能研修センターは、港湾労働者が港湾運送の業務に従事するために必要な免許・資格・知識・技能を身に着けるための教育施設。最新の港湾荷役機械に対応するためのスーパーガントリークレーン等。実際の荷役同様の環境で実践的な訓練が行うことができる施設を見学します。

また、鉄道部会「2023 視察学習会」和歌山県串本町伊勢本線視察について説明。東日本大震災から12年以上が経過していることから、東南海地震のリスクは高まっている。紀伊半島は複雑なリアス式海岸や断崖も多く、風光明媚な観光スポットでもある反面、東南海地震では甚大な被害が予測されています。紀伊本線の震災対策や大津波への対策は優先しなければいけない。現地の生の対策や困難な点等を集約し神奈川県での防災対策に活かすよう視察をする。

協議事項は、交通政策、県内交通改善要求2023の取り組みとして、神奈川県へは5項目の交通政策、神奈川県警へ4項目の交通政策要求・63項目の地域交通政策、横浜市、川崎市、藤沢市、小田原市。への要求内用を確認しました。今回は、申し入れの手交は行わず、書面にて回答を受けることと、内容を精査し再度書面にて交渉することが確認されました。

各産別からの報告を受け、当面の活動日程を確認し終了しました。